

# 論点

## なくなる施設虐待

障害者施設の職員による虐待事案が増加している。4年前に入所者19人が元職員によって殺害される事件が起きた神奈川県立津久井やまゆり園でも今年、職員による虐待の疑いや不適切な支援が指摘された。入所施設での虐待はなぜなくなるのか。設置者や運営法人がすべきことは何なのか。【聞き手・上東麻子】

黒岩 祐治  
神奈川県知事



くろいわ・ゆうじ  
1964年生まれ、神戸市出身。早稲田大卒業。民間キャスターを務め、救急医療キャンペーン報道番組で放送文化基金賞など。国際医療福祉大大学院教授を経て2011年から現職。

## 今後は障害者の目線に立つ

痛ましい植松聖死刑囚の殺害事件の後、「早く再生させなければ」という声があつた。だが、再生させるべきか、それとも殺害されたままにしておくべきか、という議論の中で、津久井やまゆり園を運営する施設法人、かながわ共同福祉施設法人は、かねがね「入所者の権利のあり方」に問題があつたという指摘を受けて、対応を急いで進めた。これは、入所者の権利を尊重し、入所者の生活の質を向上させるための取り組みである。入所者の目線に立つことが、施設での虐待を防止する鍵となる。

神奈川県が設置した津久井やまゆり園の支援検証委員会は5月に公表した中間報告で、園では障害者虐待防止法の指針で定められた要件を満たさずに身体拘束をしたり、24時間の居室施設を長期間行っていたりしたことなどを指摘した。事件を起した植松聖死刑囚(30)の裁判の判決は、植松死刑囚が「重度障害者は不要な存在」と考えることにつながった背景として、職員による入所者への暴力、不適切なふるまいなどがあつたと指摘している。

曾根 直樹  
日本社会事業大専門職大学院准教授



そね・なおき  
1969年生まれ。埼玉県在住。東洋大大学院卒。埼玉県立障害者支援施設、東松山山社会福祉協議会勤務、厚生労働省虐待防止専門官などを経て現職。

## 「密室」で生まれる職場の風土

「密室」で生まれる職場の風土。障害者施設では、職員による虐待事案が増加している。その背景には、施設内での「密室」状態によるコミュニケーション不足や、監視カメラの設置によるプライバシーの侵害などが挙げられる。また、入所者の権利を尊重しない風土が、職員による虐待を助長している。施設運営者や職員は、入所者の目線に立つことで、このような問題を防止し、安全な施設運営を実現する必要がある。

久保 厚子  
全国手をつなぐ育成会連合会会長



くぼ・あつこ  
1951年岐阜県生まれ。知的障害がある長男の活動を促す。社会福祉法人が夢野会理事長。入所施設などを運営。

## 尊厳、権利 大切にしているか

入所者の権利を尊重し、入所者の生活の質を向上させることが、施設での虐待を防止する鍵となる。施設運営者や職員は、入所者の目線に立つことで、このような問題を防止し、安全な施設運営を実現する必要がある。

## 障害者施設の職員による虐待事案が増加している。

4年前に入所者19人が元職員によって殺害される事件が起きた神奈川県立津久井やまゆり園でも今年、職員による虐待の疑いや不適切な支援が指摘された。入所施設での虐待はなぜなくなるのか。設置者や運営法人がすべきことは何なのか。【聞き手・上東麻子】

## 身体拘束や暴力も

神奈川県が設置した津久井やまゆり園の支援検証委員会は5月に公表した中間報告で、園では障害者虐待防止法の指針で定められた要件を満たさずに身体拘束をしたり、24時間の居室施設を長期間行っていたりしたことなどを指摘した。

事件を起こした植松聖死刑囚(30)の裁判の判決は、植松死刑囚が「重度障害者は不要な存在」と考えることにつながった背景として、職員による入所者への暴力、不適切なふるまいなどがあつたと指摘している。